

特定非営利活動法人みなと障がい者福祉事業団 平成22年度 事業計画

基本方針	1ページ
重点課題	2ページ
事業実施計画	3ページ

基本方針

1 特定非営利活動法人みなと障がい者福祉事業団の目指す方向と取組み

- 障がい者福祉事業団は、障がい者が就労し、自立して、その人らしく暮らしていくことができる地域社会の実現を目指します。
- 特定非営利活動法人である事業団は、引き続き港区からの支援を得ながらも、独立性、自主性の高い事業の実施主体として、障害者自立支援法に基づいた就労移行支援、就労継続支援事業をはじめとした事業を展開し、障がい者方々の企業就労への支援を強化・充実していきます。
- 事業団は、平成14年度から開始した港区障害者就労支援事業を受託しており、今後は、執行体制の見直しなどにより就労支援センターとして一層の機能強化と充実を図ります。
- 障害者雇用促進法に基づく第1号職場適応援助者(ジョブコーチ)の資格を2名の就労支援員が取得し、資格取得者が3名となりました。東京障害者職業センター等他の機関と連携をとりながら、障がい者を雇用する企業支援を行っていきます。
- 永年勤続表彰式を行い、4年以上勤務している事業団出身者14名を表彰しました。今後も定着支援の一環として永年勤続者の表彰を行っていきます。
- 雇用の場として、地下鉄大門駅構内にパン等の販売店舗トリアを設けました。トリアの特徴の一つとして手帳を持たない発達障がい者の方を含め最低賃金を保障した雇用契約を結んでいる点があります。この特徴を今後とも生かし、発達障がい者の方の雇用をより一層進めることに尽力します。
- 港区民まつり、「ふれ愛祭り芝」など芝、麻布、港南地区で開催されたお祭りに参加し、パン等の販売を行うと共に、事業団の活動をアピールしました。今年度も積極的に地域との交流を促進します。

2 事業団の経営改善

- 法人として健全な経営を進めていくためには、事業団の経営基盤の安定・強化が欠かせません。ベーカリー事業では、経営面で、厳しい状況が続いており、トリア、カフェ・ドゥーの収益改善が必要です。黒字化に向けて収益面の改善、経費削減等の経営努力を行います。
- 障がい者の雇用主でもある当事業団は、障がい者雇用促進のための助成金制度を利用し、また行政や企業が設立した財団の各種助成金申請を行い事業団の運営に役立てます。
- 自動販売機の設置台数増加、手数料見直しなどにより収益向上に努めます。

重点課題

1 就労支援センター機能の充実

- 経験豊かな就労支援指導員を新たに雇用し、執行体制を見直し、就労支援センター機能を強化します。
- 従来から事業団は、就労支援センター機能を担ってきました。しかし「支援センター」の名称を使用しなかったため、就労支援センターとしての事業団の役割を伝えきれていない部分があり、区内作業所利用者の就労支援事業利用がスムーズに進んでいませんでした。今年度は、区内作業所へ就労支援担当が説明に出張するなど積極的に就労支援センターとして情報提供を行い、就労支援事業利用者の増加へつなげます。

2 就労継続支援事業A型、自主事業の収支改善

- 就労継続支援事業カフェ＆ベーカリー「カフェ・ドゥー」、自主事業サブウエイズベーカリー「トリア」の店舗運営は、経営上厳しい状況です。
しかし、新規パン販売拠点として高輪福祉売店が6月よりオープンし、立地条件から売り上げが見込めます。また出張販売先開拓、魅力ある商品の導入、新規メニューの開発などで経営努力を続け収支改善に努めます。

3 就労を通じた社会参加への意識啓発

- 障がい者が就労し、社会参加していくことの意義や重要性について、障がい者本人、保護者、家族等の理解を深めていくことが大切です。
- 事業団では、意識啓発の一環としてこれまでも就労支援事業講演会の実施など勉強会等を行ってきましたが、引続き研修会などを通じて意識啓発に努めていきます。

4 特定非営利活動法人としての体制確立

- 区の支援を受けた法人であるため、区民が納得できる体制と透明感のある運営が欠かせません。
- 障がい者の企業就労や障がい者雇用を視点に据え、より良い方法を取り入れながら、法人の運営体制を構築していきます。

事業実施計画

1 障害者自立支援法内事業

次に掲げる事業を、障害者自立支援法に基づく就労移行支援事業として展開を図ります。

(1) 就労移行支援事業

受託事業

事業内容	事業場所	委託元	利用者数
日常清掃業務	障害保健福祉センター館内	港区	20名程度
チューナークリーニング業務等	障害保健福祉センター館内	ケーブルテレビほか	
花壇、プランターの管理	区役所 障害保健福祉センター	港区	8名程度

自主事業

事業内容	事業場所	利用者数
喫茶業務	障害保健福祉センター1階 喫茶たんぼぼ	4名程度

(2) 就労継続支援A型事業

事業内容	事業場所	利用者数
カフェ&ベーカリー業務	生涯学習センター1階 Café Deux(カフェ・ドゥー)	10名程度

2 障害者就労支援事業

次に掲げる事業を実施し、利用者に対して就労の機会を提供するとともに、一般就業に向けた訓練の場として活用していきます。

(1) 受託事業

事業内容	港区障害者就労支援事業	
対象者	一般就労を希望する障がい者及び企業等に在職している障がい者	
事業内容	就労面の支援	職業相談、就職準備支援、職場開拓、職場実習支援、職場定着支援、離職時の調整及び離職後の支援 職場見学会の実施(年2回程度)
	生活面の支援	日常生活の支援、安心して職業生活を続けられるための支援、豊かな社会生活を築くための支援、将来設計や本人の自己決定支援

		はたらく仲間の交流会(仲間作り事業) 年2回 開催予定 生活支援サロン事業(たまり場の提供事業)月1回 開催予定 平成22年4月~23年3月 就労者を対象としたたまり場の提供事業 週1回 開催予定 平成22年4月~23年3月
職員配置	就労支援コーディネーター 2名 生活支援コーディネーター 1名 地域開拓促進コーディネーター 1名	
支援ネットワーク会議	事業団、港区障害者福祉課、みなと保健所、港特別支援学校、品川公共職業安定所、区内授産施設・作業所等、事業主団体代表等により構成するネットワーク会議 年2回程度の開催	
福祉売店業務	港区役所1階 区からの受託事業 利用者5名程度で運営	
パソコン教室の運営	事業団の利用者を対象に、パソコン操作講習を行い、就労の機会の拡大を図る。 毎週水曜日、9時45分~11時15分 各回10名程度	

事業内容	事業場所	委託元	利用者数
受付・案内業務	精神障害者生活支援センター(5月まで)	港区	5名程度
受付・案内業務	障害保健福祉センター1階	港区	3名程度
障害者インターンシップ事業	港区役所	港区	区公募による障がい者

(2)自主事業

事業内容	事業場所	利用者数
TROIS(トロア)	地下鉄大江戸線大門駅B1Fラッチ外コンコース	6名程度
はり・マッサージ	障害保健福祉センター5階 視覚障害者訓練室	1名程度

3 利用者向け研修の充実

- 外部講師を招いての利用者研修については、平成23年度においても、利用者が興味・関心を持って受講できるテーマや講師を選択し、今後も充実を図ります。

4 職員向け研修の充実

- 外部講師を招いての研修及び外部機関における研修等の受講により、職員の資質の向上を図ります。

5 さまざまな組織との連携と広報活動

- タイムリーな情報を提供し、魅力あるホームページとして今後も充実を図ります。
- 年3回の会報の発行を継続するとともに、パンフレット類をさらに充実させます。
- 企業の障がい者雇用ネットワークやジョブコーチネットワーク等の組織の会員となって交流

を活発化するとともに、事業団のPRにも努めます。また他の就労支援機関とは、日常業務を通して、連携を強化していきます。

4 その他の事業会計収入

(1) 自動販売機等の設置

次に掲げる公共施設等の一部を港区から借り受けて自動販売機等を設置し、売上げに応じた収入を得るとともに、設置箇所の拡大に努めます。

種別	設置場所	台数	提携先
証明写真機	港区役所1階 高輪地区総合支所5階	2	(株)東京富士カラー
清涼飲料水 自動販売機 合計49台	南麻布みなとふれあい館(1) 港南健康福祉館(2) 麻布区民センター(1) 赤坂子ども中高生プラザ(1) 台場区民センター(1)	6	東京コカ・コーラボトリング(株)
	スポーツセンタープール棟(1) スポーツセンター2階(1) 赤坂子ども中高生プラザ(1) 高輪地区総合支所(1) 南麻布福祉会館(1) 清掃事務所(3) 赤坂健康増進センター(1)	9	(株)伊藤園
	港南健康福祉館(1)	1	アーバンベンデックスネットワーク(株)
	サン・サン赤坂(1) 麻布区民センター(1) 港南子ども中高生プラザ分室(1) 虎ノ門健康福祉館(1) スポーツセンター2F談話室(1) 港区役所1F(1) 国際交流協会(1) 青山生涯学習館(1)	8	(株)ジャパンビバレッジ

	赤坂地区総合支所(2) スポーツセンター中央棟(2) スポーツセンタープール棟(1) スポーツセンターアリーナ棟(1) 芝給水所公園運動場(1) 生涯学習センター(2) 芝高齢者在宅サービスセンター(1) 保健サービスセンター(1) アクアフィールド芝公園(2) 芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ(2) 氷川武道場(1) 青山運動場(1)	17	麒麟ビバレッジ(株)
	赤坂総合支所(2)	2	明治乳製品(株)
	台場区民センター	1	アサヒビバレッジサービス(株)
	赤坂地区総合支所	1	アベックス(株)
	港南子ども中高生プラザ	2	カルピスピバレッジ(株)
	商工会館(1) 港区スポーツセンター(1)	2	(株)日本ペプシコーラ
複写機 合計15台	区立障害保健福祉センター5階 共同活動室	1	オーエリックス(株)
	全区立図書館	8	
	港区役所3階	1	
	港南健康福祉館	1	
	福祉会館	8	

(2) 賛助会員の拡大

企業等との関係を深め、引き続き賛助会員の拡大を図ります。

5 利用者の福利厚生事業など

(1) 健康診断

全利用者を対象に定期健康診断を実施します。(9月頃)

(2) 親睦活動など

会員相互の親睦を深め、協調性や連帯感を培うとともに、会員の社会性や知識・教養を高めることを目的として、以下の活動を行います。

研修旅行 日帰りの研修旅行を年2回の予定で実施

各種行事への参加 ヒューマンぶらざまつりや地域のイベントに参加